

特別講演

小林 久隆

米国国立がん研究所 終身主任研究員

関西医科大学附属光免疫医学研究所 所長

「がんの近赤外光線免疫療法(光免疫療法、アルミノックス療法)」

垣見 和宏

近畿大学医学部 免疫学教室 主任教授

「ネオアンチゲンの同定と特異的TCR-T細胞治療法の開発」

他、講演4題、ビデオプレゼンテーション7題

ACTjapanフォーラム

アカデミア臨床開発Update

～最新モダリティを駆使したがんへの挑戦～

2023年11月30日(木)

13:00～17:30 参加費無料

会場:LINK-J ライフサイエンスハブウエスト

大阪市中央区備後町4-1-3御堂筋三井ビルディング4階

※オンラインにて同時配信



会場で参加



オンラインで参加

共 催:日本橋渡し研究アライアンス/大阪大学橋渡し拠点(大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部)

後 援:大阪大学大学院医学系研究科・医学部附属病院 産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ/一般社団法人ACTjapan

13:00～ 開会挨拶

13:10～ 特別講演 1

垣見 和宏 近畿大学医学部 免疫学教室 主任教授
「ネオアンチゲンの同定と特異的TCR-T細胞治療法の開発」

座長： 保仙 直毅 大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学 教授

14:20～ 実用化が期待される新しいがん治療

深瀬 浩一 大阪大学大学院理学研究科、大阪大学放射線科学基盤機構 教授
「難治性がんに対するアルファ線核医学治療薬の開発」

下條 正仁 大阪大学大学院薬学研究科 生物有機化学分野 特任准教授
「腫瘍抑制因子RESTスプライシングを制御する核酸医薬開発」

白川 利朗 神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 先端医療学分野 教授、副研究科長
「新規経口がん治療ワクチンの臨床開発」

谷山 義明 大阪大学医学部 先端分子治療学 特任教授
「HER2陰性乳癌・転移再発症例への治療法の開発」

座長： 尾路 祐介 大阪大学大学院医学系研究科 生体病態情報科学講座 教授

16:20～ 特別講演 2

小林 久隆 米国国立がん研究所 終身主任研究員 / 関西医科大学附属光免疫医学研究所 所長
「がんの近赤外光線免疫療法(光免疫療法、アルミノックス療法)」

座長： 金高 賢悟 長崎大学大学院 消化器再生医療学 教授

17:30～ 閉会挨拶

PROGRAM

SHORT VIDEO PRESENTATIONS

大阪大学医学部附属病院が提供する臨床研究e-learningサイトCROCOにて期間限定で配信。

視聴方法はACTjapan HP (<http://www.ima-mirai.or.jp>) に掲載致します。

谷内 恵介 高知大学医学部 消化器内科 准教授

「切除可能膵癌患者に対する術前化学療法＋手術の治療効果を予測するバイオマーカーの臨床応用」

藤田 和利 近畿大学医学部 泌尿器科 准教授

「尿中エクソソーム上EphA2による尿路上皮癌診断法の開発」

水口 裕之 大阪大学大学院薬学研究科 教授

「腫瘍溶解性ヒト35型アデノウイルス製剤の開発基盤研究」

河嶋 厚成 大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学講座(泌尿器科学) 講師

「筋層非浸潤性膀胱癌に対する新たなる治療薬開発を目指して」

尾路 祐介 大阪大学大学院医学系研究科 生体病態情報科学講座 教授

「WT1を標的にした癌代謝分子標的治療」

渡辺 崇夫 愛媛大学大学院医学系研究科 消化器・内分泌・代謝内科学 助教(特任講師)

「PKRとその下流分子を標的とした新規肝細胞癌治療法の可能性」

乾 隆 大阪公立大学大学院農学研究科 教授、創薬科学研究所 所長

「がん細胞指向性を有するタンパク質カプセルによる新規DDSの開発」

参加を御希望の方は、
QRコードまたは
ACTjapanHP「イベント情報」
よりお申込みください。
<https://ima-mirai.or.jp/events/>

会場で参加

オンラインで参加



11/16(木)までに
お申込みください。

当日参加可能です。

※来場参加については、
定員に達した場合は先着順とさせていただきます。



LINK-J ライフサイエンスハブウエスト

大阪メトロ御堂筋線・中央線「本町」駅2番出口より徒歩1分

大阪メトロ四ツ橋線「本町」駅27番出口より徒歩7分

京阪電車「淀屋橋」駅12番出口より徒歩10分